

災害に備える

「災害は、忘れたころにやってくる」と言われます。災害が起こったときのために、市では避難所となる小・中学校に、乾パンやおかゆ、粉ミルク、シチュー、非常用備蓄水などの食糧のほか、毛布やブルーシート、ライトなどを備蓄しています。

また、年に一度、市民の皆さんと一緒に、災害が起こった時のために防災訓練を行っています。

家庭で備える

☆災害時必需品

(例) 携帯ラジオ、懐中電灯、ロウソク、マッチ、救急用品、非常用食料、飲料水など

◎災害に備えて、普段から水道水を備蓄しておきましょう。人間が生命を維持するために必要な飲み水の量は1日3リットル。3日分の合計9リットルを備蓄しておいてください。

「水道水を保存するときのポイント」

- ・密栓できる容器をよく洗い、口元いっぱいになるまで水道水を入れてください。
- ・保存場所は直射日光の当たらない冷暗所を選んで保存すると3日程度飲料水としては保存できます。

※浄水器を通した水道水は塩素

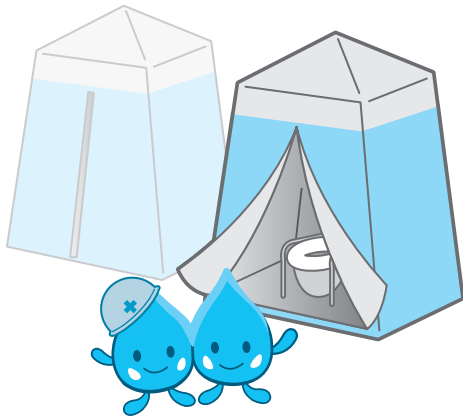
による消毒効果がなくなりますが、備蓄水として使用する場合は、毎日入れ替えましょう。



▲毎年行っている防災訓練
炊き出しの物資などを参加者に配ります。



▲炊飯袋(ハイゼックス)にお米と飲料水を入れ、炊き出します。



▲防災訓練の参加者が、マンホールトイレを組み立てました。

販売中

非常用備蓄水

「ガラシャおもかげの水」

各家庭や事業所での備蓄用に地下水100%の水道水を非常用備蓄水として販売しています。

市では、災害に備えて、非常用備蓄水を各小学校に備蓄しています。

価格：1箱 3,000円(税込)
(490ml×24本)

場所と時間：上下水道部お客様窓口
平日の午前9時～午後5時

賞味期限：平成29年10月17日

詳しくは、上下水道部総務課水道係 ☎955-9538

